

製品名: CENPE (15A19) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08639**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	316kDa

抗原情報

遺伝子名	CENPE
別名	CENP E; Centromere associated protein E; Centromere protein E 312kDa; KIF10; Kinesin family member 10; Kinesin related protein; PPP1R61;
遺伝子 ID	1062.0
SwissProt ID	Q02224
免疫原	ヒト CENPE の合成ペプチド

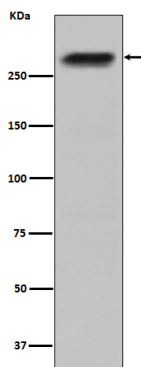
背景

CENPE は、G2 期に蓄積する 250~300 kDa のヒトセントロメア関連キネシン様モータータンパク質です。微小管プラス端を指向するキネトコアモーターは、染色体会合、微小管-キネトコア接合、および紡錘体形成チェックポイントの活性化において重要な役割を果たします。極性染色体が紡錘体微小管に沿って紡錘体赤道面に向かって横方向に滑動するのを媒介し、キネトコアと紡錘体微小管間の結合の確立と維持を助けることで、染色体会合（紡錘体赤道面における染色体の整列、ひいては中期板の形成）を促進します（PubMed:7889940、PubMed:23891108、PubMed:25395579）。脱チロシン化された微小管トラックは、紡錘体赤道面への極近位染色体の輸送を促進する（PubMed:25908662）。動的な微小管先端の双方向性トラッカーとして機能し、染色体が会合した後も動原体において積極的な役割を果たし続け、動的な微小管末端との結合を強化する（PubMed:23955301）。NDC80 欠損細胞では染色体の会合を抑制し、微小管が安定化した場合にのみ会合にプラスの影響を与える（PubMed:25743205）。キネトコアと紡錘体微小管間の安定した接着形成において重要な役割を果たします（PubMed:17535814）。キネトコアと微小管の接着の安定化には、BUB1B、MAD1、MAD2 などの他のタンパク質の CENPE 依存的なキネトコアへの局在も必要です。BUB1B との相互作用により、紡錘体集合チェックポイント活性化（SAC）において重要な役割を果たします。これは、SAC の活性化に重要なキナーゼ活性を活性化します。個々のキネトコアにおける有糸分裂チェックポイントシグナルは、単一染色体損失による異数性を防ぐために必要です（類似性による）。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HepG2 細胞溶解物中の CENPE 発現のウェスタン ブロット分析。